

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福岡県 吉富町

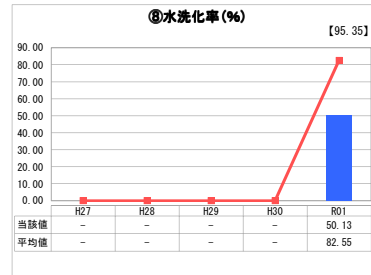
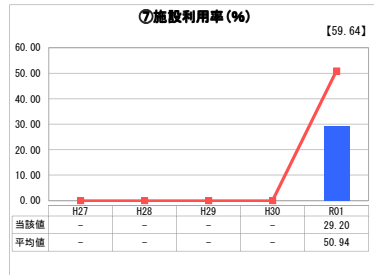
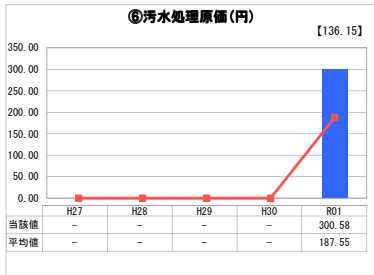
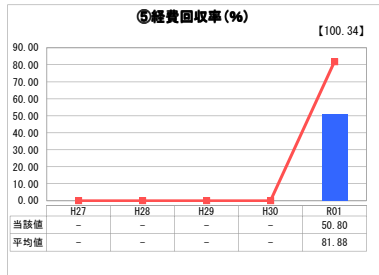
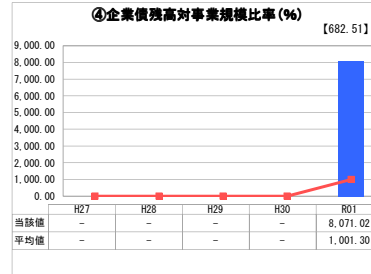
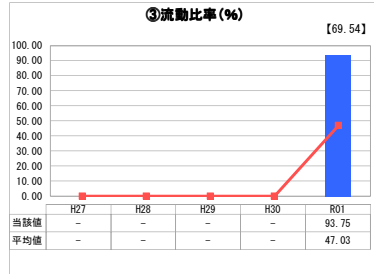
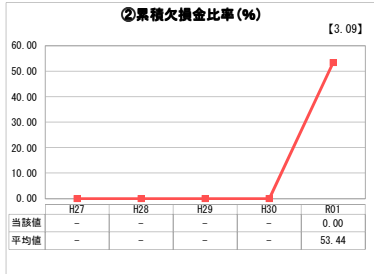
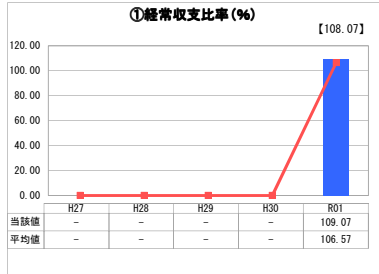
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	45.91	57.38	101.41	3,170

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,764	5.72	1,182.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,870	1.42	2,725.35

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

吉富町公共下水道事業は平成9年に事業着手、平成15年度に供用開始している。現在全体計画区域233ha中142haの整備が完了している。

①経常収支比率⑤経費回収率について  
経常収支比率は100%を超え、経費回収率は100%を下回っている。使用料で回収すべき経費を賄えておらず、使用料以外の収入に依存する経営となっている。そのため、経営の効率化による経費削減に努めるとともに、使用料収入を増加させることが課題である。

③流動比率について  
100%を下回っており、1年以内に現金化できる資産で1年以内に支払わなければならない負債を賄えていない。この債務は、翌年度以降順次償還予定の企業債であり、償還に必要な原資を一般会計からの繰入金で賄うことが予定されている。

④企業債残高対事業規模比率  
下水道事業は事業開始時に処理場の建設、下水道管渠布設等を行う必要があるため、事業開始時は投資額が多くなる。類似団体との差は水洗化率の低さにより使用料が低くなっているためである。

⑥汚水処理原価  
汚水処理原価は下水処理場への流入量の増加により低くなる。下水道普及による原価の低下を見込む。

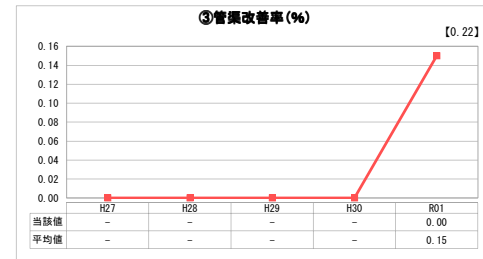
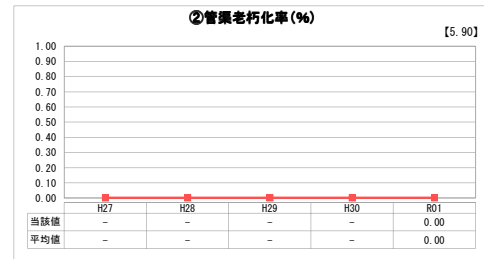
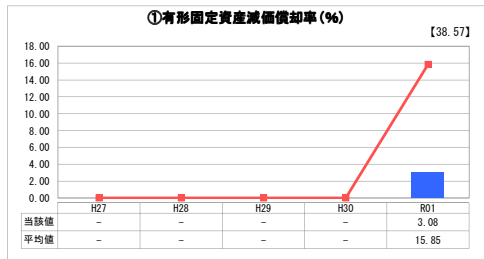
⑦施設利用率  
今後、下水道を普及させていくことにより処理場への流入量の増加を見込んでいる。

⑧水洗化率  
水洗化率が類似団体と比べ低い水準である。引き続き処理場見学会や未接続世帯に対する個別訪問等の取組により、水洗化普及活動を通して水洗化率の向上を図る。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始からの年数が、管渠の耐用年数を超えていないため管渠改善は行っていない。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

経営の健全性・効率性については、単年度の収支は黒字であり、累積欠損金も発生していないが、汚水処理費が使用料収入だけで賄えておらず、一般会計繰入金に依存する経営となっている。老朽化の状況については、現在、法定耐用年数に達した管渠はほとんどないが、今後、人口減少による使用料収入の減少や管渠の老朽化による更新費用の増加など、経営環境がより厳しいものとなることが予想されるため、経営戦略（平成29年度策定）に基づき、経営の健全化、効率化を図ることが必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。